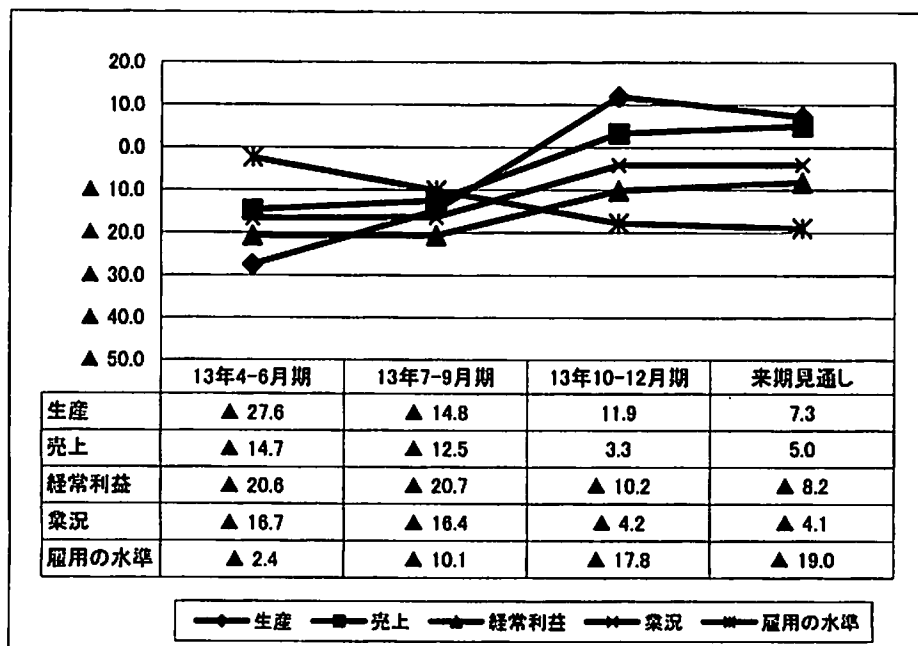


県内の経済雇用情勢について

企業景況(DI)の推移



■企業調査(H25.10-12月期)の結果

【目的】 県内景況を把握するため四半期ごとに企業サイドの景況感を調査

【調査期間】 平成25年11月～12月

【調査客体・手法】 県内事業所への郵送アンケート、訪問によるヒアリング
(回答事業所数:746事業所)

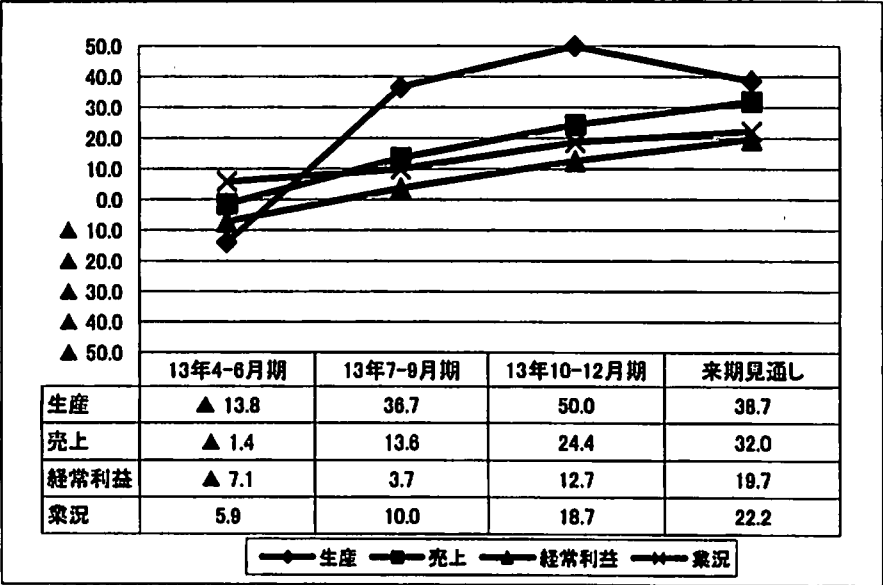
【結果概要】

生産、売上のDIはプラスに転じ、経常利益、業況のDIはマイナス幅が縮小し、景況感が改善した。

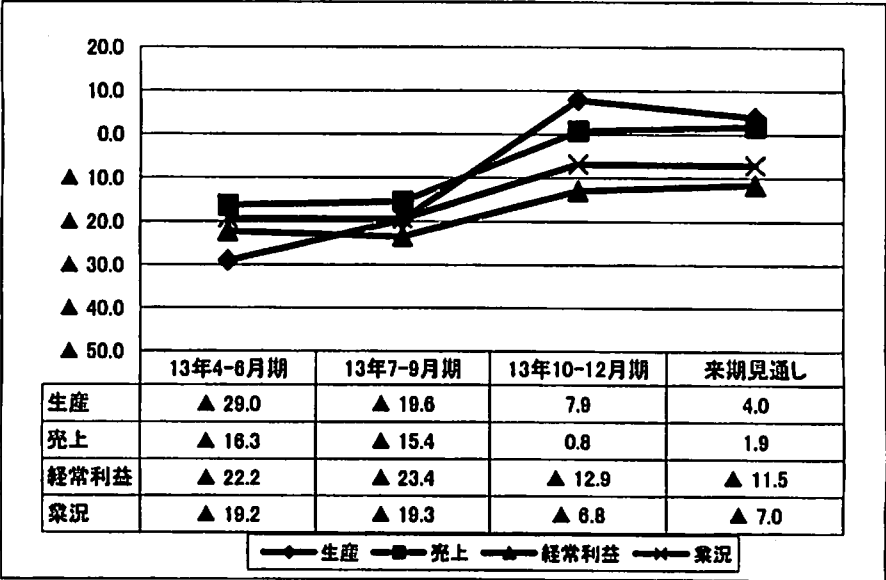
来期は生産DIはプラス幅が縮小するが、売上DIはプラス幅が拡大し、経常利益、業況のDIはマイナス幅が縮小する見通しとなっている。

注)DIとは、各調査項目についての増加(好転・上昇等)割合から、減少(悪化・低下等)割合を差し引いた値を示す。雇用の水準DIでは、「過剰」-「不足」として算出するので、プラスになれば人員過剰、マイナスになれば人員不足となる。

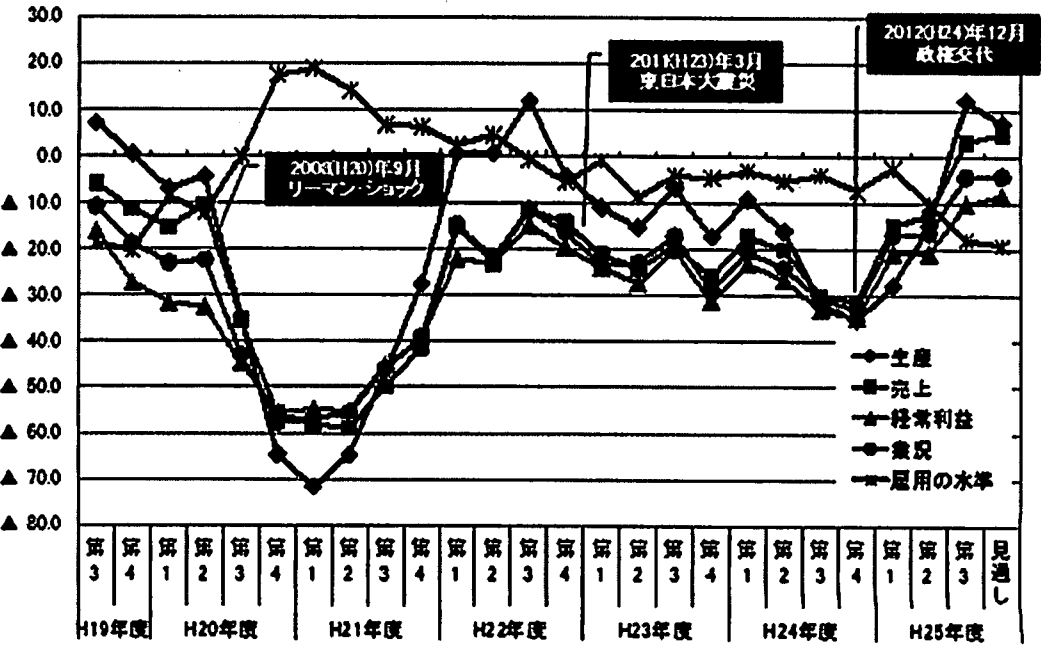
規模別 大企業



中小企業



(参考)

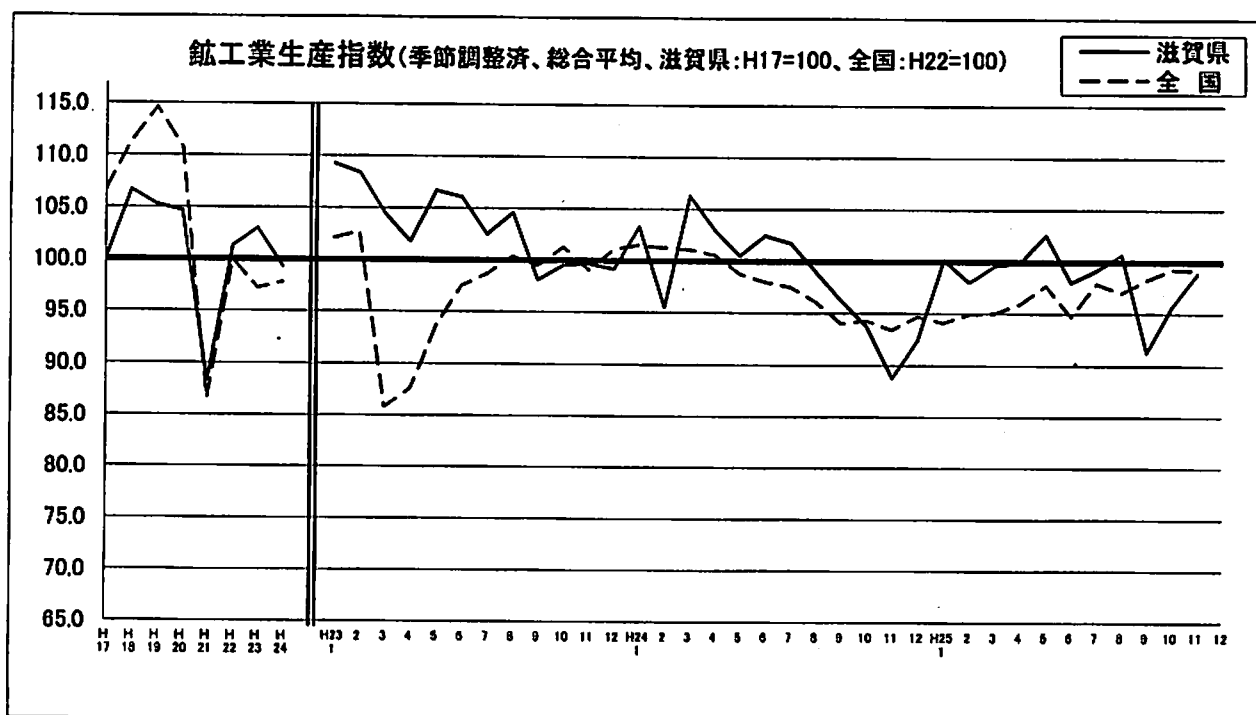


経済指標から見る県経済の動向（平成25年11月の経済指標から）

県内景気は、緩やかに持ち直している。

◆生産動向は緩やかに持ち直しつつある。

（資料：県統計課）

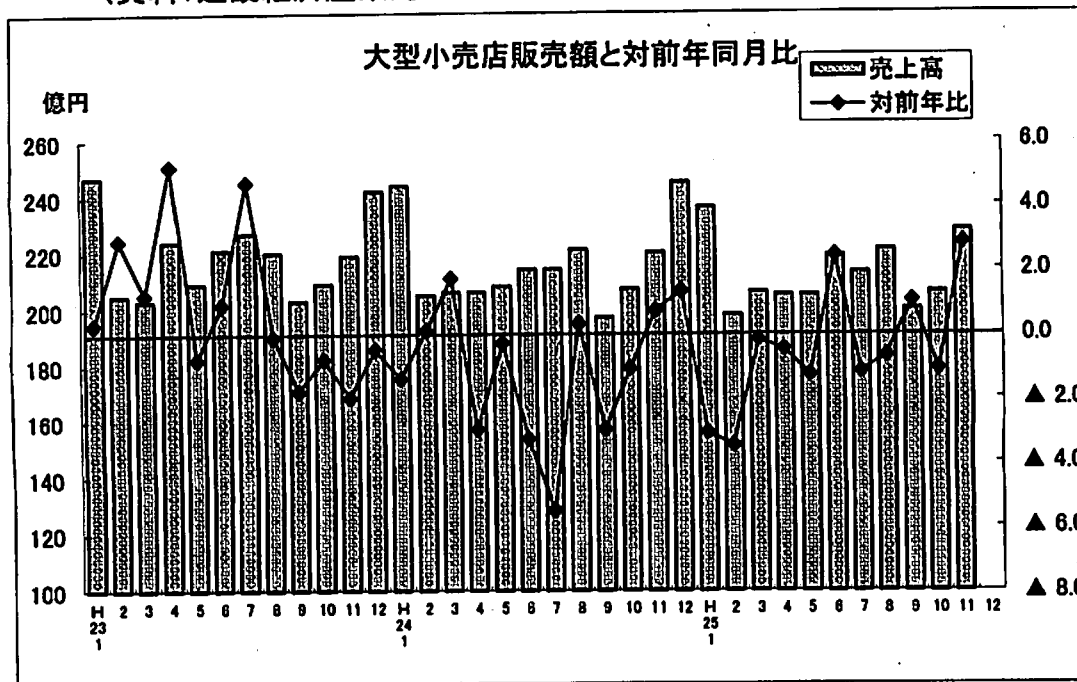


・鉱工業生産指数の原指数は2ヶ月連続で前年を上回り、季節調整済指数は2ヶ月連続で前月を上回った。

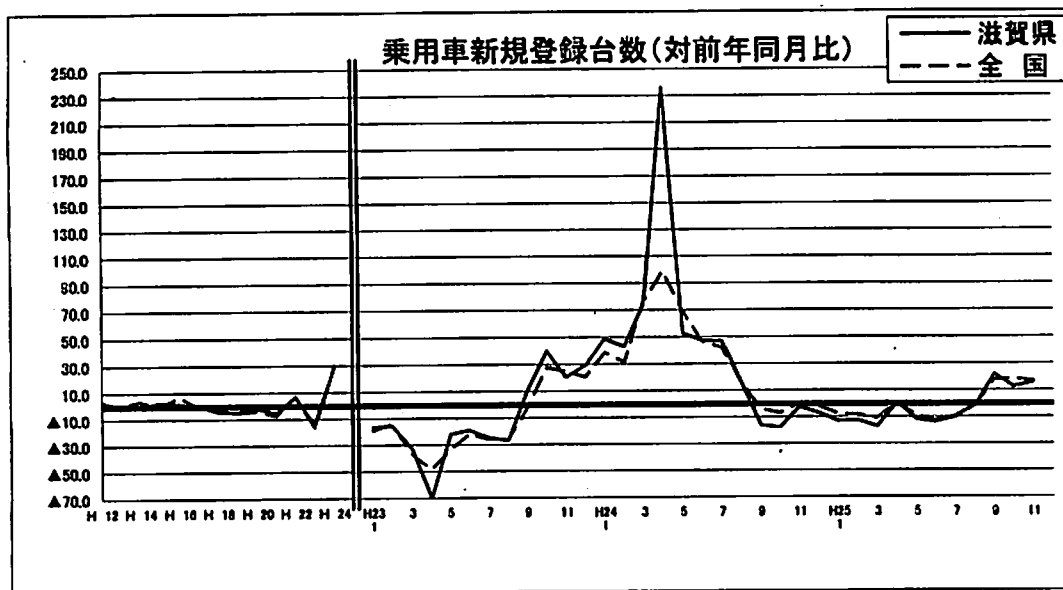
（季節調整済指数 H17=100）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
鉱工業生産指数	99.9	102.6	98.0	99.2	100.7	91.3	95.7	98.9

◆個人消費は緩やかに持ち直しつつある。

(資料:近畿経済産業局 / 滋賀県自動車税事務所・軽自動車検査協会滋賀事務所)



・大型小売店販売額は、2ヶ月ぶりに前年同月を上回る

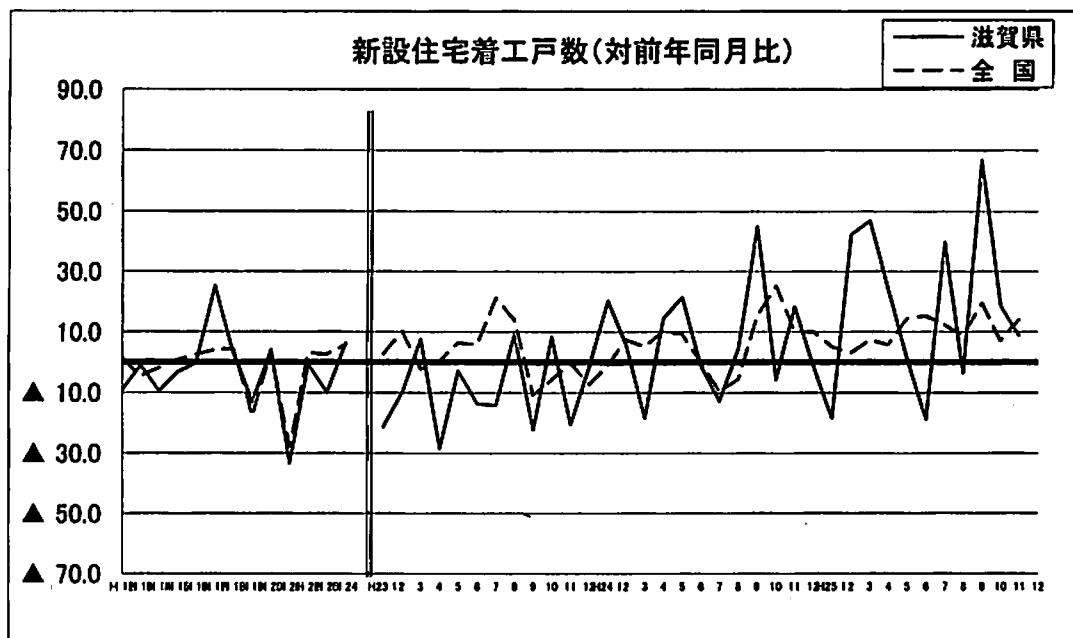


・乗用車新規登録台数は、3ヶ月連続で前年同月を上回る。

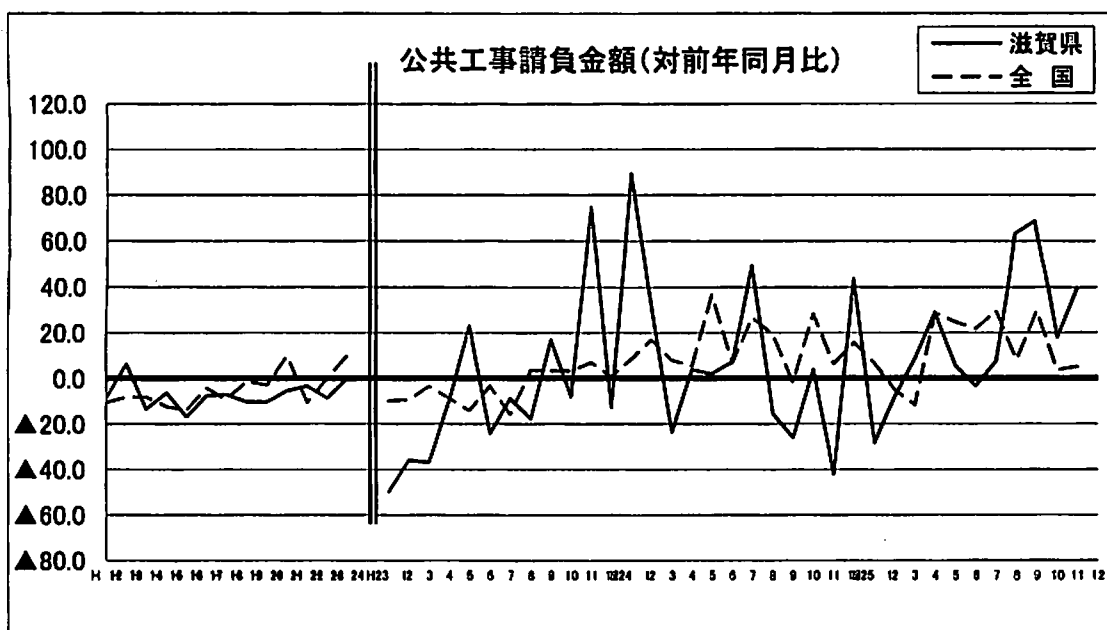
(前年同月比)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
大型小売店販売額 (販売額)	▲0.5	▲1.3	2.4	▲1.2	▲0.7	1.0	▲1.1	2.8
乗用車新規登録台数	1.0	▲11.5	▲13.6	▲10.2	▲1.2	22.0	12.5	16.2

- ◆住宅投資は増加している。
- ◆公共投資は増加している。

(資料:国土交通省 / 西日本建設業保証(株))



・新設住宅着工戸数は、3ヶ月連続で前年同月を上回る。

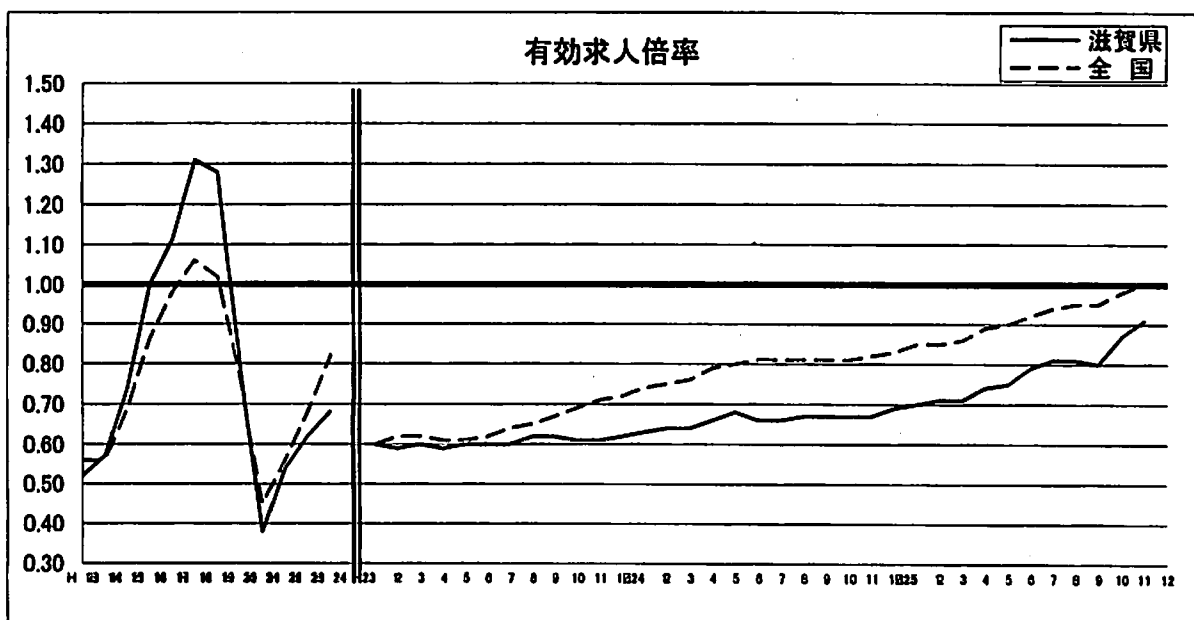


・公共工事請負金額は、5ヶ月連続で前年同月を上回る。

(前年同月比)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
新設住宅着工戸数	23.6	1.1	▲18.8	39.6	▲3.5	66.7	18.7	8.8
公共工事請負金額	28.9	5.3	▲3.4	7.4	63.2	68.7	17.9	39.4

◆雇用情勢は一部に厳しさが見られるものの、改善の動きが広がりつつある。

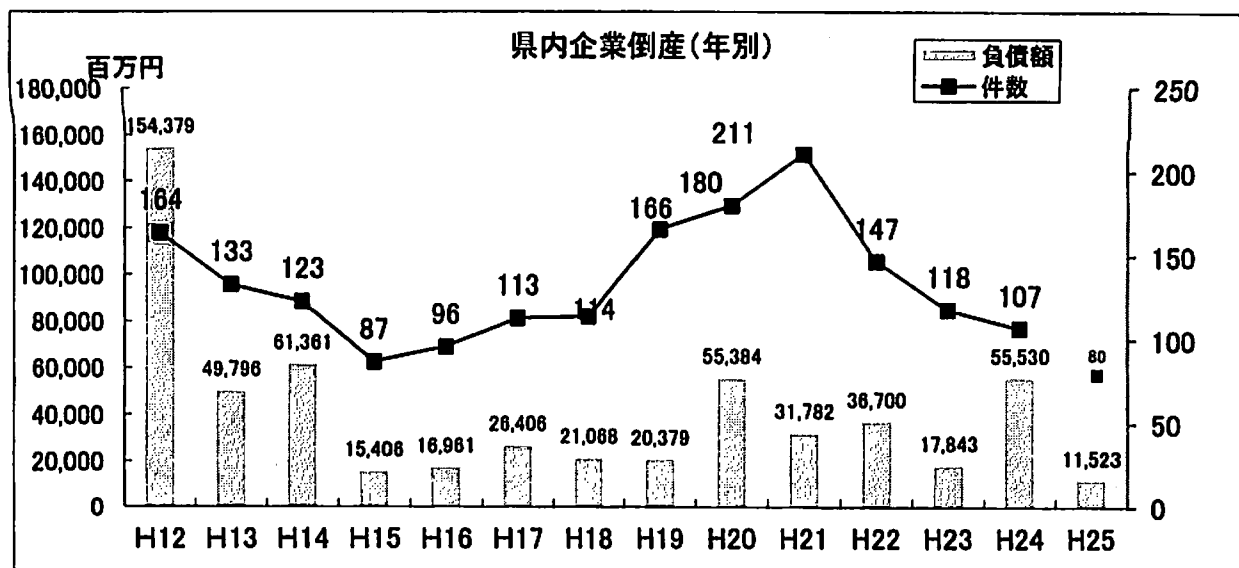
(資料:厚生労働省 / 東京商工リサーチ)



・有効求人倍率は、2ヶ月連続で前月を上回る。

(季節調整済指数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
有効求人倍率	0.74	0.75	0.79	0.81	0.81	0.80	0.87	0.91

◆倒産状況



・企業倒産件数は、2ヶ月ぶりに前年同月を上回る。(平成25年は1月～11月の合計)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
企業倒産件数	7	7	6	9	5	8	7	13
(前年同月比)	75.0	▲30.0	▲62.5	▲25.0	▲37.5	33.3	▲46.2	62.5